

東北地方		職人気質の残る組織において 情報セキュリティ教育を推進 マスヤ・スチール工業株式会社
宣言タイプ	★	
業種	建設業	
従業員規模	6~20名	
業務のIT依存度	4	

きっかけ

PCの老朽化、情報資産の管理徹底、従業員のセキュリティ教育などの課題を抱えていた中、まずは、基本的なセキュリティ対策の徹底と従業員のセキュリティ教育を行うために、SECURITY ACTIONの活用を検討し宣言を実施。

効果

- 不審なメールを不用意に開けたりせず、識別して担当者に通知できる従業員が増えた。
- OSやソフトを最新の状態に保ち、共有サーバの定期的な共有設定の見直しを行う習慣ができた。



工夫

- 朝礼などで定期的に不審なメールなどについての注意喚起を行っている。
- セキュリティの新ルール導入にあたっては、従業員の理解が得られるよう丁寧に説明するとともに、徐々に進めることで浸透させるよう配慮している。
- 人手が不足しているため、ベンダーのセキュリティサービスを利用し、省力化を図っている。

■企業紹介

1964年の創業以来、金属製建具の販売・メンテ・リニューアル工事を専門に行っている。金属製建具工事外装パネル工事、重軽量シャッターなどで、お客様に付加価値を感じていただけるブランド力を付けていきたいと考えている。

実施者のコメント



■必要なセキュリティ対策は、デッドラインを決めることから始める

OSのサポート期間終了に伴う対策など、対応期限があらかじめわかっているセキュリティ対策については、まずデッドラインを決め、諸々必要な作業時間から逆算し、開始時期を見積もるようにしている。

■セキュリティ対策は経営者の推進力が必要

- セキュリティ対策を推進するためには、担当者のみが孤軍奮闘しても難しく、経営者が理解を示すことが最も重要。
- 被害経験が少ないと、具体的な危機を想定することが難しい。そのため、従業員へのセキュリティ教育では身近な例などの説明を心がけるとともに、自身にも被害が及ぶ可能性があることを周知している。

対策のポイント

チェック

「情報セキュリティ5か条」により、社内の実施状況を確認。新たにサーバーとソフトウェアを導入する計画があり、安心して使える環境を整備するため、強化すべきポイントを整理。

宣言

チェックの結果を社長に報告し、SECURITY ACTION宣言を行うことへの承認をもらう。

宣言後

新たにサーバーとソフトウェアを導入する計画があり、安心して使える環境を整備するため、基本的対策の徹底・浸透を図る。